

さくらだより*

第12号

2009年9月30日

社会福祉法人京都老人福祉協会 京都市伏見区深草大龜谷東古御香町59番地・60番地 TEL.075-641-6622 FAX.075-641-6746



ことば

副理事長 三代 修

いよいよ鳩山政権がスタートしました。高速道路無料化、年金改革、ガソリン税暫定廃止、温暖化ガス削減等数々の新政策がある中で、何と言つても目玉政策は子育て手当を中心とした子育て支援策のようです。中学卒業まで一人当たり二六、〇〇〇円／月は国の財政負担としては決して小さくありません。財源をどうするのかと心配する向きはありますが、ぜひ実現して欲しいと考えます。経済成長戦略もその担い手が減少していく社会では心もとないのであります。子育て世代が経済的負担から結婚できない、子どもが産めないという不安の声は私たちのごく身近でも聞きます。社会全体が子育て世代を応援し、社会への信頼を育てて欲しいのです。「あんしん」の社会を作つて欲しいのです。子育てに優しい社会はきっと高齢者や障がい者にも優しい社会に違いないはずだと思います。



ハートで
ぬくもりと安心を
お届けします
京都老人福祉協会



骨折でギブスをしているため、長い間入浴が出来ていないのでベッド上でシャンプーをしました。「気持ちがええなー、幸せやー」と何度もお礼を言つて下さいました。

感謝とは？ 広辞苑を引ぐと「ありがたく感じて誠意を表すること」…とある。誠意とは、すなわち「感謝の気持ち、謝罪の心。おわびの気持ち」とあります。

あるお年寄りが感謝とは？ 「喜んでもらうこと」と話されました。「人は

人との関わりの中で生きている。色んな人の力で生かしてもらつている、日々感謝である」と話されたお年寄り。

先日あるTV番組で娘さんが、「お母さんの介護を長く続けられるのは『有り難う』と感謝の気持ちを言ってくれるからです」とお話をされました。私が介護の仕事を始めて一〇年が過ぎました。振り返ればやはりお年寄りから「有り難う、また来てね」と喜んで下さる姿や寝たきりでお話ができないお年寄りが笑顔で応えてくれた時など、この仕事に就いて良かつたと思う事があつたから続けて来られたと思います。感謝といふ言葉の響きは癒されます。

生き永らえることへの感謝、元気な時は周りの忠告も聞かず無茶をしてきた自分が病気になり振り返った時、忠告をしてくれた人への感謝（忠告は素直に聞き入れておくことが後々感謝につながると思う）と話されたお年

分を救つてくれた親への感謝、護事業所へ人事異動で来て半年近くになります。初めてのことも多く、ご迷惑をかけたこともありました。皆様のご支援、ご協力でここまで来ることがであります。

さて話は変わり、恐縮ですが私自身のことをお話ししさせて頂きます。娘がおりまして一歳半になるのですが「パパ」「ママ」「アンパンマン」などの単語を話すようになり家庭が賑やかになりました。風邪や病気、夜泣きしたりと大変ですが、楽しく過ごしています。

な両親に対して、中学、高校生くらいになると生意気な態度を示していたことを思い出し、申し訳ない気持ちになりました。また同時に、両親も今の自分と同じように子の幸せを願つて育ててくれたことを思うと感謝の気持ちで一杯になりました。

私はどちらかと言えば無頓着で、気持ちを伝えることも苦手です。しかしながら幸いにも妻

のおかげで毎年、母の日、父の日、誕生日は欠かさずにお祝い

をすることが出来ていますので、そういった日には、今までの感謝の気持ちを両親に伝えられて、少しでも孝行ができるは良いな



癒される響き

京都老人ホーム養護職員 濑川由紀



「感謝」

醍醐の家ほっこり職員 下野克之



『昔ながらの町家を利用し、在宅での生活を支援させていただく地域密着型の施設です。』

パンフレットでこの言葉をして1年。その町家で勤務させていただくなり半年が経ちました。初めてこの町家に入つたとき、なぜかとても懐かしい雰囲気を感じました。それは、老人介護の事業所らしからぬ外観。畳敷きの室内。触るとバラバラ落ちそうな土壁。まるで生まれ育つた田舎の家のような感じがしたからでしよう。

利用者さまに話を聞いてみても、皆さん声をそろえて「ここに来て『ここに来て全然緊張しないわ』『昔の家に帰

つてきたみたいやわ』とおっしゃって下さいます。老人介護の事業所にとって、利用者さまに落ち着いてお過ごしいただける

dintになります。さらに、地域密着型施設にとって自宅に居るような気持ちというものはとても大切です。その雰囲気を自然に出してくれる京町家は、我々スタッフにとってとても貴重なものであり、利用者さまもこの町家を大切に思つて下さっていると思います。

和喫茶さくら

さらに、同じ建物内には和喫茶もあります。高い吹き抜けのあるフロアで入れたてのコーヒーを飲んでいただいたり、中庭の見える座敷で焼きたてのケーキを召し上がるのも、とても全然緊張しないわ』

コーヒーが好きで毎日のように喫茶店に通わっていたが、体

もでできます。

さらには、同じ建物内には和喫

茶もあります。高い吹き抜けのあるフロアで入れたてのコーヒーや、『美味い・美味しい』『ありがとう・ありがとうございます』

今では全く行かなくなつたとおっしゃっていた利用者さまが、和喫茶でコーヒーを飲まれたとき、「美味しい・美味しい」「ありがとう・ありがとうございます」と涙を

つしやつて喜んで下さつたことがあります。

施設ではなく本当の家を

さらに、同じ建物内には和喫茶もあります。高い吹き抜けのあるフロアで入れたてのコーヒーや、『美味しい・美味しい』『ありがとう・ありがとうございます』

今では全く行かなくなつたとおっしゃっていた利用者さまが、和喫茶でコーヒーを飲まれたとき、「美味しい・美味しい」「ありがとう・ありがとうございます」と涙を

つしやつて喜んで下さつたことがあります。

一緒に喜び、この町家に感謝しました。



ないようになります。しかし、利用者さまからは「狭いなあ・不便やなあ」などの言葉よりも、「これが京の町家や」と説明をうけることが多くあります。それはきっと我々スタッフ以上に、この町家に親しみや懐かしさを感じて下さつているからでしょう。

ありがとう

板橋の町家 ほっこり職員 上原正好



利用者さまだけでなく、我々スタッフにも常にホッとできる雰囲気を教えてくれる町家に、わずか半年で利用者さまとの距離をなくし、一つのことでも同じ

喜びを感じさせてくれたこの町

家に感謝の気持ちを忘れず、こ

れからも日々の業務に携わっていきたいと思います。



感謝

言葉に感謝

おぐりすセンター職員 古本真澄

感謝

感謝

京都老人ホーム看護職員 嘉喜洋子

感謝

今、おぐりすセンターでは約二〇〇名の利用者さまを五十数名のヘルパーで日々援助させて頂いています。

仲間たちのアドバイス

私は七年ほど前に、ヘルパー室に配属になり、援助のいろはも分からず、すぐに新設された深草センターほっこりに配属。支援費がなにかも分からず、援助にも言葉かけにも自信を無くしかけていた時、私を励ました。アドバイスをくれたのは、同期の仲間のヘルパーさん達でした。

深草センターから京老のヘル

パー室に転属になった時も、久しぶりに行なうオムツ交換などに戸惑っていた私に、助言をしてくれた仲間のヘルパーさんの言葉にどれほど助けられたか、分かりません。

感謝

「緊急シヨート」の不思議な力

春日丘センター職員 橘 和子

感謝

「いいえ、」「ちりぢり」と

京都老人ホームデイサービス職員 川崎龍馬

緊急シヨートステイの役割

春日丘センターのシヨートステイには「緊急シヨート」という役割があります。介護者の入院や介護疲れ、介護者からの虐待、災害等の理由で要介護の方が介護を受けられず、日常生活に支障をきたす状況になつた時にご利用いただく制度です。

緊急シヨートの利用者さまは、長期間（最長二ヶ月）滞在されることもあり、私達の心に残っています。特に私はKさんのことが印象に残っています。

Kさんは、介護者だった息子

利用者さまの言葉

雨の日、雪の日の活動を終え、夜遅く自宅に帰った時、なんと言えない空しいような気持ち

利用者さまの言葉

私は七年ほど前に、ヘルパー室に配属になり、援助のいろはも分からず、すぐに新設された深草センターほっこりに配属。支援費がなにかも分からず、援助にも言葉かけにも自信を無くしかけていた時、私を励ました。アドバイスをくれたのは、同期の仲間のヘルパーさん達でした。

深草センターから京老のヘル

パー室に転属になった時も、久

ぶりに行なうオムツ交換など

に戸惑っていた私に、助言をしてくれた仲間のヘルパーさんの言葉にどれほど助けられたか、分かりません。

温かい言葉には、その人の持つて居られる温かな気持ちまで感じることが出来、その温かさに今まで幾度となく、励まされてきました。ヘルパーの仕事を続けて来られたのは、色々な方に頂いた温かな気持ちが有つたからだと思います。

その温かな言葉を下さつた方々に感謝しつつ、今後、人を励ましたり、力づけるような言葉を少しでも言える自分になつていきたいと思っています。今日この頃の私です。

お年寄りの方は何かしてあげると【ありがとう】と言って下さる。その言葉が私にとって一番うれしい言葉であり、仕事の励みになる。

今、何に一番感謝しているかと聞かれたら、私を産み育ててお年寄りの方は何かしてあげると【ありがとう】と言つて下さい。その言葉が私にとって一番うれしい言葉であり、仕事の励みになる。

お年寄りの方は何かしてあげると【ありがとう】と言つて下さい。その言葉が私にとって一番うれしい言葉であり、仕事の励みになる。

お年寄りの方は何かしてあげると【ありがとう】と言つて下さい。

感謝の意味を考えた時、日常の中でも言葉にして表す事は、少ないと思います。

人は誰かに親切にしてもらつ

つたない私の援助に感謝し、

「ありがとうございます」とおっしゃつて下さる利用者さま。家事援助では生活の知恵等を色々と教えて頂いたり、話して下さる言葉に励まされ、パワーを頂きました。

【ありがとう】と、お礼を言う。

それは感謝の表現であり、【うれしかった】という思いが込められている。色々な【ありがとう】が感謝であり、心や思いだとう。

【ありがとう】と、お礼を言う。

お年寄りの方は何かしてあげると【ありがとう】と言つて下さい。

その言葉が私にとって一番うれしい言葉であり、仕事の励みになる。

今、何に一番感謝しているかと聞かれたら、私を産み育てて

お年寄りの方は何かしてあげると【ありがとう】と言つて下さい。

その言葉が私にとって一番うれしい言葉であり、仕事の励みになる。

平成20年度決算報告書

社会福祉法人 京都老人福祉協会

貸 借 対 照 表

平成21年3月31日現在 (単位:円)

資産の部		負債の部	
科 目	金額	科 目	金額
流動資産	855,855,810	流動負債	237,095,263
固定資産	2,687,562,205	固定負債	1,249,633,132
基本財産	2,206,566,670	負債の部合計	1,486,728,395
その他の固定資産	480,995,535	純資産の部	
		基本金	218,250,000
		国庫補助金等特別積立金	892,536,212
		その他の積立金	364,573,209
		次期繰越活動収支差額 (内当期活動収支差額)	581,330,199 4,161,611
		純資産の部 合計	2,056,689,620
資産の部合計	3,543,418,015	負債及び純資産の部合計	3,543,418,015

事業活動収支計算書

自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日 (単位:円)

支出の部		収入の部	
科 目	金額	科 目	金額
人件費	1,697,736,945	介護保険収入	1,898,623,325
直接介護費	360,921,330	措置費収入	149,343,435
一般管理費	291,913,413	診療収入	20,196,030
利用者負担減免額	3,656,526	ヘルパー講座収入	4,024,000
減価償却費	81,923,886	私的契約利用料収入	1,401,374
引当金繰入	24,498,996	経常経費補助金収入	9,543,306
		国庫補助金等特別積立金取崩額	44,587,948
		自立支援費収入	90,027,783
		その他事業収入	233,474,364
事業活動支出計	2,460,651,096	事業活動収入計	2,451,221,565
借入金利息	18,133,461	借入金利息補助金収入	3,911,120
雑損失	4,080,065	受取利息配当金収入	493,376
		寄附金収入	5,517,400
		雑収入	18,108,636
		雑収入(事外)	3,580,301
事業活動外支出計	22,213,526	事業活動外収入計	31,610,833
国庫補助金等特別積立金積立額	75,849,775	施設整備等補助金収入	77,400,000
固定資産除売却損	648,868	固定資産受贈額	0
他会計区分繰入金支出	446,458,300	固定資産売却益	20,000
その他の特別損失	5,649,430	他会計区分繰入金収入	446,458,300
		その他の特別収入	8,921,908
特別支出計	528,606,373	特別収入計	532,800,208
その他の積立金繰入額	0	(当期活動収支差額)	4,161,611
次期繰越活動収支差額	581,330,199	前期繰越活動収支差額	577,168,588
		その他の積立金取崩額	0
支出の部合計	3,592,801,194	収入の部合計	3,592,801,194

平成21年度事業方針

社会福祉法人 京都老人福祉協会

1. 理念・将来構想

- ・組織理念の見直し
 - 誰にでもわかりやすいもの
 - 時代を見通し、実際の取組みの指針となるもの
- ・中期プログラムの作成
 - 社会的使命を考え、何をもって世間からの評価とするか
- ・重点事業の特定
 - 制度・政策分析とビジョン、バランス、速度をもとに事業構成を主体的に決める
- ・財務戦略の検討
 - 資金調達方法の検討
 - 債務バランスの見極め

2. 組織・人材育成

- ・子育て支援
 - 各種支援制度の拡充
 - 事業所内保育所の準備
 - 子育て支援担当者の専任配置
- ・障害者支援
 - 雇用体制の拡充(全ての事業所で障害者雇用を)
 - プロジェクトの拡充
- ・研修教育体制の整備
 - 系統的研修制度の整備
 - 資格取得支援(給付、貸与奨学金、職務配慮、奨励啓発)
 - 研修費用の目標支出額の設定(総収入の1%)
- ・人事給与システムの整備
 - 介護報酬改定の増収分を職員に還元
 - 給与制度の改定(4月と10月に分けて行なう。雇用体系全体の見直し)

3. 事業展開

- ・地域密着型サービス
 - 収益性の改善と経営の安定化
 - 中重度者対応が出来るようサービスの質を高める
 - 高齢者専用賃貸住宅など時代に応えるサービスの創造
- ・地域ケアの展開
 - 深草中部地域包括支援センターを加えた、地域包括支援センター3ヶ所体制
 - 介護予防推進センターの整備・充実
 - 地域密着拠点・地域支援室を中心とした自主事業の確立



四月に建物が完成し全職員の初めての顔合わせなどがあり、それから一ヶ月の準備期間。毎日の朝のミーティング時には「リモコンが多くて分かりにくくはないか?」「車椅子の目線に、これがあるのは変ではないか?」など、スタッフ一人一人の様々な意見を書き出しながら話し合ひ。色々検討しながら五月から

利用して下さる利用者さまにとって温かみがある使いやすい家具や使って下さる利用者さまの笑顔を思い描きながら食器を選び。近隣のスーパー、建物までの距離を歩きながら地図を作成。車椅子にのって近隣を散策し、ガタガタの道など写真に撮り報告し合うなど、安全にすごして頂ける様に連携し協力しながら準備してきました。

それと同時に竣工式・見学会に向け、制度などの勉強会を行い施設に対する理解を深めていきました。当時はたくさんの方々が見学に来てくださり、大盛況に無事終わりました。

あつという間に五月になり、スタッフ・環境の準備が不十分なまま、利用者さまの受け入れをスタートしましたが、バタバタしてスタッフ間の連携がとれてしまつた事もありまし

た。

そして六・七月が過ぎ、利用者も増えていき、スタッフと一緒に過ごす中で出来ていらない事のアドバイスをして下さったり、助けて下さる日々です。

そんな中でも「ありがとう」の言葉、美味しい笑顔で伝えて下さる利用者さまに、元気をもらい、スタッフ一同感謝している毎日です。

まだまだこれからも頑張りますので、皆様温かく見守ってくださいね。



小栗栖の家ほっこり **さくらハウス** 小栗栖

- 小規模多機能型居宅介護施設（登録定員25人）
- 小規模特別養護老人ホーム（定員18人）
- 高齢者専用賃貸住宅（全14戸）
- ・小規模多機能型・通い・泊まり・訪問・特別養護老人ホーム・高齢者専用賃貸住宅・生活相談

〒601-1444 京都市伏見区小栗栖牛ヶ淵町30
お問合せ ☎075-575-2466
最寄駅・停留所／京都市地下鉄東西線「醍醐」駅

感謝 小栗栖の家ほっこりです!!

小栗栖の家ほっこり職員 島屋敷由香

京都老人ホームで配食サービスの事業がスタートして一三年になります。そして、きつちん「さくら」の運営となり四年が経とうとしています。現在、約三〇名の方々に利用して頂いており、一日で昼食約一七〇食、夕食約一三〇食、土日約四五食の利用があります。朝食の配達もおこなっています。配食サービスは、きつちん「さくら」の事業の中でも利用者さまと直接接する機会が多く、安否確認とともに一食一食の重みを感じながらスタッフ一同配達しています。時にはお弁当について、私たちが気付いていない、ハツとするようなことを言われることもあります。このような利用者さまの声に感謝し、期待に応えられるようにやつていかなればならないと思っています。独居、高齢者世帯の方がほとんどで、お誕生日カードをお渡しし



▲さくら弁当

たり、毎回メニューに豆知識を載せたり、行事食をおこなつたりして、配食サービスを通して少しでも季節感、手作りの温かみを感じ頂けたらと思っています。

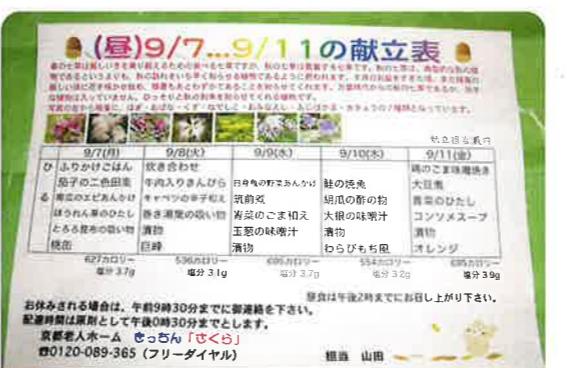
ある週のメニューにこんな記事が載りました。京野菜のルツについてです。

平安建都以来一二〇〇年の歴史を有する京都では、宮廷料理の野菜が求められ、農家はそれに応えるために様々な改良や工夫を凝らし、努力を積み重ねています。また、肥沃な土地、寒暖の差が激しい四季に、めりはりがある独特的の気候なども京野菜が京都で生まれて来た大事な要素ということです。

きつちん「さくら」の食事を多くの方々に利用して頂いています。

最後に、利用者さまの笑顔と「ありがとうございます」の言葉、時折頂くなっています。

感謝のお手紙は、私達の励みとなっています。



▲さくら昼食メニュー



▲さくら夕食メニュー

感謝～配食サービスより～

きつちん「さくら」職員 山田美千代

京都老人ホームで配食サービスの事業がスタートして一三年になります。そして、きつちん「さくら」の運営となり四年が経とうとしています。現在、約三〇名の方々に利用して頂いており、一日で昼食約一七〇食、夕食約一三〇食、土日約四五食の利用があります。朝食の配達もおこなっています。

載せたり、行事食をおこなつたりして、配食サービスを通して少しでも季節感、手作りの温かみを感じ頂けたらと思っています。

や寺社仏閣で食される精進料理、京町衆のおばんざいなど豊かな食文化が発達してきました。地理的にも京の都は海から遠く、自然に人々は菜食が中心となつて行きました。そして、宮廷料理や精進料理に使うための良質の野菜が求められ、農家はそれに応えるために様々な改良や工夫を凝らし、努力を積み重ねています。また、肥沃な土地、寒暖の差が激しい四季に、めりはりがある独特的の気候なども京野菜が京都で生まれて来た大事な要素ということです。

さんに美味しいものを届けられるように頑張つていただきたいと思います。これまで至らない点もたくさんあります。これからも味の良さに応えられるように改善、工夫、努力を積み重ねていきたいと思います。そして、利用者のみなさんに美味しいものを届けられるように、食事を楽しみにして頂けるように頑張つていただきたいと思います。

最後に、利用者さまの笑顔と「ありがとうございます」の言葉、時折頂くなっています。

感謝のお手紙は、私達の励みとなっています。

感謝

京都老人ホーム特養介護職員

勝山瞳

日常生活のなかで

他人から感謝されることは、とてもよい気持ちになります。自分自身を認めてもらえたような気持ちになります。また、人に感謝する気持ちを持つという事もよい気持ちになります。この仕事は「ありがとう」という言葉を耳にすること、言うことが多くあります。

日常生活の作業（洗濯物を干す、たたむ。食器拭き等）展示物を折り紙で作ること等を利用者さんにやつて頂くことがあります。私たち職員は「助かりました。ありがとうございます」とお礼を言いますが、ある利用者さまは「できることは何でもやりますよ」と言って下さる。私たちは仕事の一環でやつていきましたが、利用者のみなさんが今まで家庭でやつてきた事を継続してやつて頂ける環境を作らなければならないと感じます。

「ありがとう」に込められ

利用者さまから「ありがとう」と

言つて下さる事も多くあります。しかし、「ありがとう」の言葉に統いで、「お世話してくれて」との意味が込められている、そう強く思つておられるのではないのに、利用者のみなさんに、こんな風に思つておられるのでは?と感じる事があります。私たちは、そんな事を思つてもらいたいのではなく、利用者のみが現実だと感じます。

ありがとうございます。自分がどう一歩話をしてくれて

きなくて。

という思いが少なからずとも隠されている事に気づき、そんな思いに對して何ができるか。今まで、苦もなくできていた事ができなくなつてしまつた、という自分自身に対しの寂しい気持ちや、また、苛立ちかもしれない事を理解し、更なる生活のサポートをしていかなければと思ひます。

もちろん、「ありがとう」の言葉の続きを、毎回、こんな風に思つておられるわけではないだろうが、もつともつと利用者さまのことを探るために、一歩先に踏み込んで考える必要だと感じています。

社会福祉法人 京都老人福祉協会グループ



お知らせ

いらなくなった綿の古衣類、ボロ布お譲り頂けませんか?

皆様からご提供いただいている綿布大変助かっています。引き続きいらなくなつた綿布がありましたら、ご提供よろしくお願ひいたします。

075-641-6622

21年10月より
リニューアルOPEN!

京都老人福祉協会のホームページをリニューアルします。

ホームページ

<http://kyoro.or.jp/>

(※トップページのアドレスは、変更ありません)